(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3687813号
(P3687813)
(45)発行日　平成17年8月24日(2005.8.24)　(24)登録日　平成17年6月17日(2005.6.17)

(51)Int.Cl.[7]　F I
H04N　5/445　H04N　5/445　Z

請求項の数 11　(全 19 頁)

(21)出願番号　特願平8-334517
(22)出願日　平成8年11月29日(1996.11.29)
(65)公開番号　特開平10-164450
(43)公開日　平成10年6月19日(1998.6.19)
審査請求日　平成15年3月28日(2003.3.28)

(73)特許権者　000002185
ソニー株式会社
東京都品川区北品川６丁目７番３５号
(74)代理人　100082740
弁理士　田辺　恵基
(72)発明者　高橋　靖
東京都品川区北品川６丁目７番３５号ソニー株式会社内
(72)発明者　藤原　義仁
東京都品川区北品川６丁目７番３５号ソニー株式会社内
(72)発明者　吉田　公義
東京都品川区北品川６丁目７番３５号ソニー株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】情報表示方法又は情報表示装置

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
番組に対応する情報アイコンを一覧表示する第１のステップと、
一覧表示された各上記情報アイコンのうち選択された情報アイコンを、ユーザ操作に応じて、当該選択された情報アイコンに対応する番組の内容を表示するための表示領域として引き伸ばすように切り換える第２のステップと、
上記表示領域に、上記選択された情報アイコンに対応する番組の少なくともタイトルを表示する第３のステップと
を具えることを特徴とする情報表示方法。
【請求項２】
上記表示領域はバー状でなる
ことを特徴とする請求項１に記載の情報表示方法。
【請求項３】
上記第３のステップでは、
上記表示領域に、上記選択された情報アイコンと、上記タイトルとを表示する
ことを特徴とする請求項１に記載の情報表示方法。
【請求項４】
上記第３のステップでは、
上記表示領域の端に上記選択された情報アイコンを表示し、当該表示した情報アイコンを除く残りの表示領域部分に上記タイトルを表示する

ことを特徴とする請求項１に記載の情報表示方法。
【請求項５】
ユーザ操作に応じて、各上記情報アイコンが表示されたアイコン表示領域のうち上記表示領域を除く部分に、上記選択された情報アイコンに対応する番組の内容を詳細に表す詳細内容説明を表示する第４のステップ
をさらに具えることを特徴とする請求項１に記載の情報表示方法。
【請求項６】
上記第4のステップでは、
ユーザ操作に応じて、上記表示領域を上記アイコン領域の上側に移動し、当該表示領域に上記タイトルを表示すると共に、当該タイトルの下側に上記詳細内容説明を表示する
ことを特徴とする請求項５に記載の情報表示方法。
【請求項７】
上記タイトルの表示及び上記詳細内容説明は、同一の操作子に対する上記ユーザ操作に応じて順次表示される
ことを特徴とする請求項５に記載の情報表示方法。
【請求項８】
上記第１のステップでは、
番組に対応する情報アイコンを格子状に並べて表示する直前に視聴されていた番組に対応する上記情報アイコンに、選択用カーソルを表示する
ことを特徴とする請求項１に記載の情報表示方法。
【請求項９】
上記情報アイコンは、複数のメデイアソースから提供される番組に対応するものである
ことを特徴とする請求項１に記載の情報表示方法。
【請求項１０】
上記第１のステップでは、
上記複数のメデイアソースのうち、指定された上記メデイアソースの番組に対応する情報アイコンを一覧表示する
ことを特徴とする請求項９に記載の情報表示方法。
【請求項１１】
情報を表示する表示手段と、
番組に対応する情報アイコンを上記表示手段に一覧表示させる制御手段と
を具え、
上記制御手段は、
一覧表示した情報アイコンのうち選択された情報アイコンを、ユーザ操作に応じて、当該選択された情報アイコンに対応する番組の内容を表示するための表示領域として引き伸ばすように切り換え、その表示領域に上記選択された情報アイコンに対応する番組の少なくともタイトルを表示するように、上記表示手段を制御する
ことを特徴とする情報表示装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【目次】
以下の順序で本発明を説明する。
発明の属する技術分野
従来の技術
発明が解決しようとする課題
課題を解決するための手段
発明の実施の形態
（１）衛星放送受信システムの全体構成（図１）
（２）受信復号装置の構成（図２）
（３）情報ガイドシステムによる情報表示（図３～図９）

（４）実施の形態の動作及び効果
（５）他の実施の形態（図１０～図１６）
発明の効果
【０００２】
【発明の属する技術分野】
本発明は情報表示方法及び情報表示装置に関し、例えば放送衛星を介して配信される多数のテレビジヨン番組の中から、視聴者が必要とする番組を選択する際に各番組をガイド表示する情報表示方法及び情報表示装置に適用して好適なものである。
【０００３】
【従来の技術】
放送衛星を介して視聴者にテレビジヨン番組が配信される衛星放送システムでは、テレビジヨン信号がデイジタル化され、膨大な数の番組が同時に配信される。このようなシステムでは、視聴者が選択する番組数が格段に多くなる。
【０００４】
また電話回線又は専用回線を介してホスト側からコンピユータ端末に番組、映画、音楽、雑誌記事や商品情報等の種々の情報を提供するシステムでは、端末側のユーザが膨大な情報の中から必要とする情報を選択し、これをホスト側に要求することになる。
【０００５】
【発明が解決しようとする課題】
かかるテレビジヨン番組やコンピユータを利用した情報等の選択を視聴者やユーザが行おうとすると、膨大な番組又は情報の中から所望の番組又は情報を検索しなければならない。この場合、ある概念に基づいて階層的に分類された情報単位をモニタ画面上に表示しながら、所望とする情報を検索するといつたユーザの操作が必要となり、現在検索している情報の階層が分からなくなつたり、分類概念の不理解を生じて、ユーザが所望とする情報を容易に検索することが困難な問題があつた。
【０００６】
本発明は以上の点を考慮してなされたもので、視聴者又はユーザが容易に所望の情報を検索し得る情報表示方法又は情報表示装置を提案しようとするものである。
【０００７】
【課題を解決するための手段】
　かかる課題を解決するため本発明は、番組に対応する情報アイコンを一覧表示する第１のステツプと、一覧表示された各情報アイコンのうち選択された情報アイコンを、ユーザ操作に応じて、当該選択された情報アイコンに対応する番組の内容を表示するための表示領域として引き伸ばすように切り換える第２のステツプと、その表示領域に選択された情報アイコンに対応する番組の少なくともタイトルを表示する第３のステツプとを設ける。
　また本発明は、情報を表示する表示手段と、番組に対応する情報アイコンを表示手段に一覧表示させる制御手段とを設け、当該制御手段は、一覧表示した情報アイコンのうち選択された情報アイコンを、ユーザ操作に応じて、当該選択された情報アイコンに対応する番組の内容を表示するための表示領域として引き伸ばすように切り換え、その表示領域に選択された情報アイコンに対応する番組の少なくともタイトルを表示するように、表示手段を制御する。
【０００８】
　本発明によれば、単位ごとに一貫して表示形態を切り換えることができるため、ユーザが所望とする番組内容を容易に検索することができる。
【０００９】
【発明の実施の形態】
以下図面について、本発明の一実施の形態を詳述する。
【００１０】
（１）衛星放送受信システムの全体構成
図１において１は全体として衛星放送受信システムを示し、パラボラアンテナ３で受信さ

れた放送信号は、受信復号装置（ＩＲＤ：Integrated Receiver/Decorder） ２で復調及び圧縮復号される。この結果得られる映像／音声信号ＳＶ１は、続くＶＨＳ方式のＶＣＲ(Video Cassette Recorder) ６に送出される。

【００１１】

ＶＣＲ６は、映像／音声信号ＳＶ１を内部に装填されているビデオテープに記録し、又は、当該映像／音声信号ＳＶ１をそのまま出力ラインからモニタ装置４に送出することにより、これをモニタ表示する。

【００１２】

また視聴者がリモートコマンダ５を操作すると、当該操作に応じた指令が赤外線信号ＩＲに変換されて、受信復号装置２に送出される。受信復号装置２は、当該指令に基づいてチャンネル切り換え、ユーザデータの登録／読み出し、当該受信復号装置２に接続された各機器（ＶＣＲ６、ＶＣＲ７、ＤＶＤ８及びＭＤ９）への制御信号ＣＯＮＴの送出等、種々の動作を実行する。制御信号ＣＯＮＴは制御ラインを介してＶＣＲ６に送出される。この制御信号ＣＯＮＴによつてＶＣＲ６が制御対象として指定されているとき、当該制御信号ＣＯＮＴによつてＶＣＲ６が制御される。これに対して制御信号ＣＯＮＴの制御対象として、ＶＣＲ６に制御ラインを介して順次接続された機器（８mm方式のＶＣＲ７、デイジタルビデオデイスクプレーヤ（ＤＶＤ:Digital Video Disc)８、ミニデイスクプレーヤ（ＭＤ：Mini Disc)９及びモニタ装置４）のいずれかが指定されているとき、ＶＣＲ６は制御信号ＣＯＮＴをそのまま続く８mm方式のＶＣＲ７に送出する。

【００１３】

ＶＣＲ７は、制御信号ＣＯＮＴを入力すると、当該制御信号ＣＯＮＴによつて指定されている機器を判別する。この判別結果がＶＣＲ７であるとき、ＶＣＲ７は制御信号ＣＯＮＴによつて指定された動作を実行する。この指示が例えばＶＣＲ７に装填されている８mmビデオテープを再生する指示である場合、ＶＣＲ７は当該ビデオテープを再生することにより、再生ビデオ信号ＳＶ３をモニタ装置４に送出することによりこれを表示する。また、制御信号ＣＯＮＴによる指示が、受信復号装置２によつて受信及び復号された放送信号（映像／音声信号ＳＶ１）をＶＣＲ７において録画する指示である場合、ＶＣＲ７は、受信復号装置２からＶＨＳ方式のＶＣＲ６及びモニタ装置４を介して入力される映像／音声信号ＳＶ１を録画する。これに対して制御信号ＣＯＮＴの制御対象がＶＣＲ７ではないとき、ＶＣＲ７は当該制御信号ＣＯＮＴをそのまま続くＤＶＤ８に送出する。

【００１４】

ＤＶＤ８は、制御信号ＣＯＮＴを入力すると、当該制御信号ＣＯＮＴによつて指定されている機器を判別する。この判別結果がＤＶＤ８であるとき、ＤＶＤ８は制御信号ＣＯＮＴによつて指定された動作を実行する。この指示が例えばＤＶＤ８に装填されているデイスクから映像及び又は音声を再生する指示である場合、ＤＶＤ８は当該デイスクを再生することにより、映像／音声信号ＳＶ４をモニタ装置４に送出することによりこれを表示する。これに対して制御信号ＣＯＮＴの制御対象がＤＶＤ８ではないとき、ＤＶＤ８は当該制御信号ＣＯＮＴをそのまま続くＭＤ９に送出する。

【００１５】

ＭＤ９は、制御信号ＣＯＮＴを入力すると、当該制御信号ＣＯＮＴによつて指定されている機器を判別する。この判別結果がＭＤ９であるとき、ＭＤ９は制御信号ＣＯＮＴによつて指定された動作を実行する。この指示が例えばＭＤ９に装填されているデイスクを再生する指示である場合、ＭＤ９は当該デイスクを再生することにより、音声信号ＳＶ５をモニタ装置４に送出することによりこれを可聴表示する。また、制御信号ＣＯＮＴによる指示が、受信復号装置２によつて受信及び復号された放送信号（映像／音声信号ＳＶ１）をＭＤ９において録音する指示である場合、ＭＤ９は、受信復号装置２からＶＨＳ方式のＶＣＲ６及びモニタ装置４を介して入力される映像／音声信号ＳＶ１の音声信号を録音する。これに対して制御信号ＣＯＮＴの制御対象がＭＤ９ではないとき、ＭＤ９は当該制御信号ＣＯＮＴをそのまま続くモニタ装置４に送出する。このとき、モニタ装置４は当該制御信号ＣＯＮＴによつて指定された動作を実行する。

【００１６】
（２）受信復号装置の構成
図２において、受信復号装置２はパラボラアンテナ３のＬＮＢ(Low Noise Block downconverter) ３Ａにより出力されたＲＦ信号は、フロントエンド２０のチユーナ２１に供給され、復調される。チユーナ２１の出力は、ＱＰＳＫ復調回路２２に供給され、ＱＰＳＫ復調される。ＱＰＳＫ復調回路２２の出力は、エラー訂正回路２３に供給され、誤りが検出、訂正され、必要に応じて補正される。
【００１７】
ＣＰＵ、ＲＯＭ及びＲＡＭからなるＩＣカードにより構成されているＣＡＭ(Conditional Access Module) ３３には、暗号を解読するために必要なキーが、解読プログラムとともに格納されている。放送衛星を介して送信される信号は暗号化されているため、この暗号を解読するためにはキーと解読処理が必要となる。そこで、カードリーダインタフエイス３２を介してＣＡＭ３３からこのキーが読み出され、デマルチプレクサ２４に供給される。デマルチプレクサ２４は、このキーを利用して暗号化された信号を解読する。
【００１８】
デマルチプレクサ２４は、フロントエンド２０のエラー訂正回路２３の出力する信号を受け、解読したビデオ信号をＭＰＥＧビデオデコーダ２５に供給し、解読したオーデイオ信号をＭＰＥＧオーデイオデコーダ２６に供給する。
【００１９】
ＭＰＥＧビデオデコーダ２５は、入力されたデイジタルビデオ信号をＤＲＡＭ２５Ａに記憶し、ＭＰＥＧ方式により圧縮されているビデオ信号のデコード処理を実行する。デコードされたビデオ信号は、ＮＴＳＣエンコーダ２７に供給され、ＮＴＳＣ方式の輝度信号（Ｙ）、クロマ信号（Ｃ）及びコンポジツト信号（Ｖ）に変換される。輝度信号及びクロマ信号は、バツフアアンプ２８Ｙ及び２８Ｃを介して、それぞれＳビデオ信号として出力される。また、コンポジツト信号は、バツフアアンプ２８Ｖを介して出力される。
【００２０】
ＭＰＥＧオーデイオデコーダ２６は、デマルチプレクサ２４より供給されたデイジルタオーデイオ信号をＤＲＡＭ２６Ａに記憶し、ＭＰＥＧ方式により圧縮されているオーデイオ信号のデコード処理を実行する。デコードされたオーデイオ信号は、Ｄ／Ａ変換器３０においてデイジタル／アナログ変換され、左チヤンネルのオーデイオ信号はバツフアアンプ３１Ｌを介して出力され、右チヤンネルのオーデイオ信号は、バツフアアンプ３１Ｒを介して出力される。
【００２１】
ＲＦモジユレータ４１は、ＮＴＳＣエンコーダ２７が出力するコンポジツト信号と、Ｄ／Ａ変換器３０が出力するオーデイオ信号とをＲＦ信号に変換して出力する。また、このＲＦモジユレータ４１は、他の機器から入力されるＮＴＳＣ方式のＲＦ信号をスルーして、他の機器にそのまま出力する。
図１に挙げる例の場合、これらのビデオ信号及びオーデイオ信号が、ＡＶラインを介してＶＣＲ６に供給される。
【００２２】
ＣＰＵ２９は、ＲＯＭ３７に記憶されているプログラムに従つて各種の処理を実行する。また、ＣＰＵ２９はＡＶ機器制御信号送受信部２Ａを制御し、コントロールラインを介して他の機器に所定のコントロール信号を出力し、また、他の機器からのコントロール信号を受信する。
【００２３】
このＣＰＵ２９に対しては、フロントパネル４０の操作ボタンスイツチを操作することによつて所定の指令を直接入力することができる。また、リモートコマンダ５の操作キーを操作すると、当該リモートコマンダ５のＩＲ発信部によつて赤外線信号が出力され、この赤外線信号がＩＲ受信部３９により受光され、受光結果がＣＰＵ２９に供給される。従つて、リモートコマンダ５を操作することによつてもＣＰＵ２９に所定の指令を入力するこ

とができる。

【００２４】

また、ＣＰＵ２９は、デマルチプレクサ２４が出力するビデオ信号及びオーデイオ信号以外の例えばＥＰＧ(Electronic Program Guide)情報を取り込み、これからＥＰＧデータを作成して、ＳＲＡＭ(Static Random Access Memory) ３６に供給し、記憶させる。ＥＰＧ情報は現在時刻から数十時間後までの各放送チヤンネルの番組に関する情報（例えば、番組のチヤンネル、放送時間、タイトル、ジヤンル、番組解説等）を含んでいる。このＥＰＧ情報は頻繁に伝送されてくるため、ＳＲＡＭ３６には常に最新のＥＰＧ情報が保持される。

【００２５】

ＥＥＰＲＯＭ(Electrically Erasable Programable Read Only Memory)３８には、電源オフ後も保持しておきたいデータ（書換え可能な例えばチユーナ２１の過去４週間分の受信履歴）等が記憶される。また、ＣＰＵ２９は、カレンダタイマ３５が出力する時刻情報と、デマルチプレクサ２４が受信信号から分離、出力するタイムスタンプとを比較し、その比較結果に対応して、正しいタイミングでデコード処理ができるように、ＭＰＥＧビデオデコーダ２５やＭＰＥＧオーデイオデコーダ２６を制御する。

【００２６】

さらに、ＣＰＵ２９は、所定のＯＳＤ(On-Screen Display) データを発生したいとき、ＭＰＥＧビデオデコーダ２５を制御する。ＭＰＥＧビデオデコーダ２５は、この制御に対応して所定のＯＳＤデータを生成して、ＤＲＡＭ２５Ａに書き込み、さらに読み出して出力する。これにより、所定の文字、図形等をモニタ装置４に出力し、表示させることができる。

【００２７】

ここで、リモートコマンダ５又はフロントパネル４０において番組ガイドの操作キーが選択されると、ＣＰＵ２９はＭＰＥＧビデオデコーダ２５を制御し、モニタ装置４に放送番組選択画面を表示させる。ユーザはこの画面上においてカーソルを所望の番組位置に移動し、リモートコマンダ５をクリツクすることにより、所望の番組を選択指定することができる。

【００２８】

（３）情報ガイドシステムによる情報表示

受信復号装置２（図２）のＣＰＵ２９はＲＯＭ３７の情報ガイドプログラムに従つて、ＳＲＡＭ３６に取り込まれたＥＰＧ情報を、ユーザのリモートコマンダ５の操作に応じて、モニタ装置４の表示画面４Ａに表示する。

【００２９】

図３に示すように、リモートコマンダ５には、表示画面４Ａに表示されるカーソルを上下左右に移動させるための「カーソル移動」ボタンＫ２、Ｋ３、Ｋ４及びＫ５と、カーソルで指示された項目（番組）を決定する「決定」ボタンＫ６が設けられている。また情報ガイド（番組ガイド）モードを設定する「ガイド」ボタンＫ１１及び、表示画面４Ａ上に表示される情報の表示モードを切り換える「解説」ボタンＫ１２が設けられている。ＣＰＵ２９（図２）はこれらのボタン操作に応じて、対応するＥＰＧ情報を表示画面４Ａに表示する。

【００３０】

すなわち、リモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１の操作によつて情報ガイドモードが設定されると、まず、図４（Ａ）に示すように、複数の情報アイコン(icon)部ＥＹが情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{ＥＹ}$に一覧表示される。各情報アイコン部ＥＹは、それぞれ各放送チヤンネルに対応して設けられており、そのチヤンネルの番組提供者である放送局を図形及び又は文字によつて表したキヤラクタ（イメージの図像、ロゴマーク又は言葉等）が表示され、いずれか一つの情報アイコン部ＥＹをカーソルＫＡが指示する。このカーソルＫＡはリモートコマンダ５の「カーソル移動」ボタンＫ２～Ｋ５によつて上下左右に移動させることができ、カーソルがいずれかの情報アイコン部ＥＹを指示した状態で、

リモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作すると、図４（Ｂ）に示すような情報カード形式の画面が表示画面４Ａに表示される。

【００３１】

この画面は、図４（Ａ）の状態でカーソルＫＡによつて指定された情報アイコン部ＥＹの横方向に、当該情報アイコン部ＥＹで示されたチヤンネルで放送されている番組のタイトル及びその要旨が簡単な文章で説明されたタイトル部ＴＹを有する。タイトル部ＴＹの隅部には「戻り」アイコン部ＲＴが表示され、当該「戻り」アイコン部ＲＴをカーソル指定することにより、図４（Ｂ）に示す画面から図４（Ａ）に示す画面に戻ることができる。因みに、図４（Ｂ）においてカーソルＫＡで指示された情報アイコン部ＥＹ、タイトル部ＴＹ及び「戻り」アイコン部ＲＴで構成された領域をタイトルバーと呼ぶ。

【００３２】

図４（Ｂ）の状態において、さらにリモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作すると、図４（Ｃ）に示すように、タイトル部ＴＹの下に情報内容解説部ＥＸを有する画面に切り換わる。この情報内容解説部ＥＸには、このとき情報アイコンＥＹによつて指定されている番組の詳細な内容情報が文章で示される。図４（Ｃ）の画面において、「戻り」アイコン部ＲＴをカーソル指定することにより、当該図４（Ｃ）に示す画面から図４（Ｂ）に示す画面に戻ることができる。

【００３３】

因みに、図４の場合には、情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{ＥＹ}$に一覧表示された情報アイコン部ＥＹのうち、左上隅部の情報アイコン部ＥＹをカーソル指定することによつて、当該情報アイコン部ＥＹの横方向にタイトル部ＴＹを表示させる場合であるが、例えば図５（Ａ）に示すように、任意の位置の情報アイコン部ＥＹをカーソル指定した場合には、図５（Ｂ）に示すように、当該カーソル指定された情報アイコン部ＥＹが例えば左方向に移動して、図５（Ｃ）に示すように、当該情報アイコン部ＥＹの右側にタイトル部ＴＹ及び「戻り」アイコン部ＲＴが表示される。

【００３４】

この状態において、リモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作することにより、当該情報アイコン部ＥＹ及びそのタイトル部ＴＹが最上段に移動して、図４（Ｃ）について上述したような情報内容解説部ＥＸがタイトル部ＴＹの下に表示される。

【００３５】

ここで、図６～図９は一連の情報表示手順を示し、図６のステツプＳＰ１においてモニタ装置４の表示画面４Ａには、このときチヤンネル指定されている番組本編が表示されている。この状態において、受信復号装置２のＣＰＵ２９はユーザによるリモートコマンダ５の入力操作を待ち受ける。ここでユーザがリモートコマンダ５のいずれかの操作ボタンを操作すると、ＣＰＵ２９はステツプＳＰ２に移つて、リモートコマンダ５による入力内容を判断する。

【００３６】

ここでリモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６が操作されている場合、ＣＰＵ２９は上述のステツプＳＰ１に戻つて番組本編の表示を続ける。これに対してステツプＳＰ２において、リモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９はステツプＳＰ４に移つて、上述のステツプＳＰ１において表示画面４Ａに表示されている番組に相当する情報アイコン部ＥＹをカーソルＫＡで指し示した情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{ＥＹ}$を表示画面４Ａに表示する。

【００３７】

これに対してステツプＳＰ２において、リモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１が操作されていることが判別されると、ＣＰＵ２９はステツプＳＰ３に移つて、番組ガイドモードの初期画面として、表示画面４Ａに情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{ＥＹ}$が表示され、カーソルＫＡの初期状態として例えば左上隅部の情報アイコン部ＥＹが指示される。

【００３８】

この状態において、ＣＰＵ２９は再びユーザによるリモートコマンダ５の入力操作を待ち

受ける。ここでユーザがリモートコマンダ５のいずれかの操作ボタンを操作すると、ＣＰＵ２９はステップＳＰ５に移つて、リモートコマンダ５による入力内容を判断する。ここでリモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１が操作されている場合、ＣＰＵ２９は番組ガイドモードを解除し、上述のステップＳＰ１に戻つて当初選択されていた番組本編の表示に戻る。

【００３９】

これに対してステップＳＰ５において、リモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は図９のステップＳＰ１５に移つて、上述のステップＳＰ３においてカーソル指定されている情報アイコン部ＥＹに対応する番組本編を表示画面４Ａに表示する。

【００４０】

これに対してステップＳＰ５において、リモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は図７のステップＳＰ７に移つて、表示画面４Ａにタイトル部ＴＹを表示し、このときカーソル指定されている情報アイコン部ＥＹに対応したタイトル及び要旨を表示する。

【００４１】

また、これに対してステップＳＰ５において、「カーソル移動」ボタンＫ２～Ｋ５が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９はステップＳＰ６に移り、当該操作に応じて表紙画面４Ａ上のカーソルＫＡを移動する。これによりユーザがリモートコマンダ５の「カーソル移動」ボタンＫ２～Ｋ５を操作して希望する情報アイコン部ＥＹにカーソルを移動させることができる。

【００４２】

この状態において、ＣＰＵ２９は再びユーザによるリモートコマンダ５の入力操作を待ち受ける。ここでユーザがリモートコマンダ５のいずれかの操作ボタンを操作すると、ＣＰＵ２９はステップＳＰ８に移つて、リモートコマンダ５による入力内容を判断する。ここでリモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１が操作されている場合、ＣＰＵ２９は番組ガイドモードを解除し、上述のステップＳＰ１に戻つて当初選択されていた番組本編の表示に戻る。

【００４３】

これに対してステップＳＰ８において、リモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は図９のステップＳＰ１５に移つて、上述のステップＳＰ６においてカーソル指定されている情報アイコン部ＥＹに対応する番組本編を表示画面４Ａに表示する。

【００４４】

これに対してステップＳＰ８において、リモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は図７のステップＳＰ９に移つて、このときカーソル指定されている情報アイコン部ＥＹの横にタイトル部ＴＹを表示し、このときカーソル指定されている情報アイコン部ＥＹに対応したタイトル及び要旨を表示する。

【００４５】

この状態において、ＣＰＵ２９は再びユーザによるリモートコマンダ５の入力操作を待ち受ける。ここでユーザがリモートコマンダ５のいずれかの操作ボタンを操作すると、ＣＰＵ２９は図８のステップＳＰ１０に移つて、リモートコマンダ５による入力内容を判断する。ここでリモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１が操作されている場合、ＣＰＵ２９は番組ガイドモードを解除し、上述のステップＳＰ１に戻つて当初選択されていた番組本編の表示に戻る。

【００４６】

これに対してステップＳＰ１０において、リモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は図９のステップＳＰ１５に移つて、上述のステップＳＰ６及びステップＳＰ９においてカーソル指定されている情報アイコン部ＥＹに対応する番組本編を表示画面４Ａに表示する。

【００４７】
またこれに対してステップＳＰ１０において、リモートコマンダ５の「カーソル移動」ボタンＫ５が操作されていると判断された場合、このことは、ステップＳＰ９の状態においてユーザがカーソルＫＡを「戻り」アイコン部ＲＴに移動させるように指定したことを表しており、このときＣＰＵ２９はステップＳＰ１２に移つて、当該「戻り」アイコン部ＲＴにカーソルＫＡを表示する。この状態において、ＣＰＵ２９は再びユーザによるリモートコマンダ５の入力操作を待ち受ける。ここでユーザがリモートコマンダ５のいずれかの操作ボタンを操作すると、ＣＰＵ２９は図９のステップＳＰ１４に移つて、リモートコマンダ５による入力内容を判断する。

【００４８】
ステップＳＰ１４において、「解説」ボタンＫ１２が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は上述のステップＳＰ６に戻つて、ステップＳＰ１２においてタイトル表示されていた番組の情報アイコンＥＹをカーソルＫＡで指し示した情報アイコン一覧表示部$A_{R_{EY}}$を表示画面４Ａに表示する。

【００４９】
これに対してステップＳＰ１４において、「ガイド」ボタンＫ１１が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は番組ガイドモードを解除し、上述のステップＳＰ１に戻つて当初選択されていた番組本編の表示に戻る。これに対してステップＳＰ１４において、リモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は、上述のステップＳＰ１２においてユーザによる「戻り」アイコン部ＲＴが指定されていることに応じて上述のステップＳＰ１に戻り、当初選択されていた番組本編の表示に戻る。

【００５０】
ここで、上述のステップＳＰ１０において、リモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は図８のステップＳＰ１１に移つて、表示画面４Ａに情報内容解説部ＥＸを表示し、このときカーソル指定されている情報アイコン部ＥＹ（ステップＳＰ６及びステップＳＰ９で指定されている情報アイコン部ＥＹ））に対応した番組の内容を文章表示する。

【００５１】
この状態において、ＣＰＵ２９は再びユーザによるリモートコマンダ５の入力操作を待ち受ける。ここでユーザがリモートコマンダ５のいずれかの操作ボタンを操作すると、ＣＰＵ２９は図９のステップＳＰ１３に移つて、リモートコマンダ５による入力内容を判断する。ここでリモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１が操作されている場合、ＣＰＵ２９は番組ガイドモードを解除し、上述のステップＳＰ１に戻つて当初選択されていた番組本編の表示に戻る。

【００５２】
これに対してステップＳＰ１３において、「解説」ボタンＫ１２が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は上述のステップＳＰ１１の表示を続ける。これに対してステップＳＰ１３において、「決定」ボタンＫ６が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は続くステップＳＰ１５に移つて、このときカーソルで指定されている情報アイコン部ＥＹ（ステップＳＰ６、ステップＳＰ９及びステップＳＰ１１で指定されている情報アイコン部ＥＹ）に対応した番組本編を表示画面４Ａに表示し、ユーザによる番組の選択を終了する。

【００５３】
これに対して上述のステップＳＰ１３において、リモートコマンダ５の「カーソル移動」ボタンＫ５が操作されていると判断された場合、このことは、ステップＳＰ１１の状態においてユーザがカーソルＫＡを「戻り」アイコン部ＲＴに移動させるように指定したことを表しており、このときＣＰＵ２９はステップＳＰ１６に移つて、当該「戻り」アイコン部ＲＴにカーソルＫＡを表示する。この状態において、ＣＰＵ２９は再びユーザによるリモートコマンダ５の入力操作を待ち受ける。ここでユーザがリモートコマンダ５のいずれ

かの操作ボタンを操作すると、ＣＰＵ２９はステツプＳＰ１７に移つて、リモートコマンダ５による入力内容を判断する。

【００５４】

ステツプＳＰ１７において、「解説」ボタンＫ１２が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は上述のステツプＳＰ１２に戻つて、ステツプＳＰ１６において情報内容解説部ＥＸに番組内容が解説されていた番組のタイトル部ＴＹが情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{EY}$の中に表示された画面に戻る。

【００５５】

これに対してステツプＳＰ１７において、「ガイド」ボタンＫ１１が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は番組ガイドモードを解除し、上述のステツプＳＰ１に戻つて当初選択されていた番組本編の表示に戻る。これに対してステツプＳＰ１７において、リモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６が操作されていると判断された場合、ＣＰＵ２９は、上述のステツプＳＰ１６においてユーザによる「戻り」アイコン部ＲＴが指定されていることに応じて上述のステツプＳＰ１に戻り、当初選択されていた番組本編の表示に戻る。

【００５６】

（４）実施の形態の動作及び効果

以上の構成において、ユーザがリモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１を操作すると、ＣＰＵ２９は番組ガイドモードに入り、ステツプＳＰ３（図６）に示すような情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{ＥＹ}$をモニタ装置４の表示画面４Ａに表示する。この表示画面４Ａには、複数チヤンネルに対応して複数の情報アイコン部ＥＹが縦横に表示される。各情報アイコン部ＥＹには、各チヤンネルに対応した放送局がキヤラクタによつて表示される。従つて、ユーザは当該情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{ＥＹ}$を見ることにより、複数のチヤンネル（放送局）を表すアイコンを同時に見ながら、リモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６を操作することによつて希望するチヤンネルを選択することができる。

【００５７】

またリモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作することによつて、表示画面４Ａにはステツプ９（図７）に示すようなタイトルバー（情報アイコン部ＥＹ、タイトル部ＴＹ及び「戻り」アイコン部ＲＴで構成される）が表示される。従つて、ユーザは複数の情報アイコン部ＥＹのなかに、ユーザが指定した特定の情報アイコン部ＥＹに対応したチヤンネルで現在放送中の番組のタイトルと簡単な要旨説明を見ることができる。

【００５８】

これにより、ユーザは現在表示中の番組ガイド（タイトルバー）が情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{EY}$の次に現れる表示ステツプであることが分かり、現在の番組ガイドの表示ステツプを容易に判断し得る。また、この状態では、タイトルバーとともに他の情報アイコン部ＥＹ（すなわち他のチヤンネル）を見ることかでき、ユーザはタイトルバーによるチヤンネルの要旨説明を他の複数の情報アイコン部ＥＹ（チヤンネル）と比較しながら見ることができる。

【００５９】

この状態において、ユーザがリモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作すると、表示画面４Ａにはステツプ１１（図８）に示す情報カード形式の画面が表示される。当該画面にはタイトルバーに加えて、番組内容の詳細説明文が情報内容解説部ＥＸに表示されることにより、ユーザは当該番組説明を情報アイコン部ＥＹによるチヤンネル提供放送局（チヤンネル）及びタイトル部ＴＹによる番組タイトルとともに見ることができる。

【００６０】

このように、ユーザはリモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作するだけで、情報アイコン一覧表示部$ＡＲ_{EY}$、タイトルバー及び情報カード形式のガイド画面を切り換えることができ、さらに各表示ステツプにおいて「決定」ボタンＫ６を操作することによつてこのときカーソルで指定されている情報アイコン部ＥＹに対応するチヤンネルの番組本編を直ちに表示することができる。これにより、番組ガイドの表示ステツプを、チヤンネ

ル（情報アイコン部ＥＹ）、当該チヤンネルで放送中の番組タイトル、当該番組タイトルの詳細説明といつた大まかな分類項目から、詳細な説明へと一貫した秩序で切り換えて行くことができる。

【００６１】

かくして以上の構成によれば、ユーザに対して、階層を感じさせないなめらかな表示遷移で番組ガイドの表示ステツプを切り換えて行くことができ、ユーザの使い勝手を向上することができる。

【００６２】

（５）他の実施の形態

（５－１）　上述の実施の形態においては、情報アイコン一覧表示部ARE_Yとして、各情報アイコン部ＥＹを縦横にランダムに並べた場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば一覧表の縦方向に同一ジヤンルのチヤンネルを表す情報アイコン部ＥＹを並べるようにしても良い。

【００６３】

この場合、ＣＰＵ２９（図２）は、リモートコマンダ５（図３）の「ガイド」ボタンＫ１１が操作されることにより、図１０に示すような情報アイコン一覧表示部AR_{EY}を表示する。この情報アイコン一覧表示部AR_{EY}には、ＥＰＧ情報に基づいて、縦方向に同一のジヤンル（Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ、Ｅ又はＦ）の番組を放送中のチヤンネル（情報アイコン部ＥＹ）が並べられている。また、当該情報アイコン一覧表示部AR_{EY}の下部には、各縦列に対応した複数のジヤンル検索アイコンＧＥを並べてなるジヤンル検索アイコン一覧表示部AR_{GE}が表示される。ユーザは、当該ジヤンル検索アイコン一覧表示部AR_{GE}を用いて、各ジヤンルごとに番組を検索することができる。

【００６４】

すなわち、図１１（Ａ）に示すように、リモートコマンダ５の「ガイド」ボタンＫ１１が操作されることによつて表示画面４Ａには縦方向に同一ジヤンルの番組を表すチヤンネルが情報アイコン部ＥＹによつて表示される。この情報アイコン一覧表示部AR_{EY}の下部には、図１０について上述したジヤンル検索アイコン一覧表示部AR_{GE}が表示される。この状態において、ユーザがリモートコマンダ５の「カーソル移動」ボタンＫ２～Ｋ５を操作することにより、カーソルＫＡを図１１（Ｂ）に示すようにジヤンル検索アイコンＧＥのいずれかに合わせることができる。

【００６５】

この状態で、ユーザがリモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作すると、このときカーソルＫＡで指定されているジヤンル検索アイコンＧＥに対応した縦列の情報アイコン部ＥＹがすべてタイトルバーに切り換わる（図１１（Ｃ）～図１２（Ａ））。

【００６６】

この状態（図１２（Ａ））では、ユーザは同一ジヤンルの各番組のタイトルを同時に見ることができ、リモートコマンダ５の「カーソル移動」ボタンＫ２～Ｋ５を操作することにより、図１２（Ｂ）に示すように、カーソルＫＡを希望のタイトルに対応する情報アイコン部ＥＹに合わせることができる。かくしてリモートコマンダ５の「解説」ボタンＫ１２を操作することにより、図１２（Ｃ）に示すように、カーソル指定されている番組の詳細な説明を表す情報内容解説部ＥＸが表示され、ユーザはこれにより番組の詳細説明を見ることができる。

【００６７】

因みに、図１１及び図１２の各表示ステツプにおいてカーソルを所望の情報アイコンＥＹ又はタイトルバーに合わせてリモートコマンダ５の「決定」ボタンＫ６を操作すれば、当該カーソルＫＡで指定されている番組本編を直ちに表示画面４Ａに表示させることができる。

【００６８】

かくして、ユーザは情報アイコン一覧表示部AR_{EY}（図１０）の縦方向に並べられた情報アイコン部ＥＹを見るだけで、同一ジヤンルの番組を放送中のチヤンネル（放送局）を知

ることができるとともに、ジヤンル検索アイコン一覧表示部AR_{GE}に表示されたいずれかのジヤンル検索アイコンＧＥにカーソルＫＡを合わせるだけで、同一ジヤンルのタイトルを同時に見ることができる。これにより、ユーザは一段と容易に番組を検索することができる。

【００６９】

なお、図１０～図１２においては、同一ジヤンルの情報アイコンＥＹを縦方向に並べた場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば和文縦表記に対応させてタイトルバーを縦長とする場合には、同一ジヤンルの情報アイコン部ＥＹを横方向に並べるようにしても良い。この場合、ジヤンル検索アイコンＧＥは対応する横列の右又は左に表示される。

【００７０】

（５－２）　上述の実施の形態においては、情報アイコン一覧表示部AR_{EY}として、各情報アイコン部ＥＹのみを縦横にランダムに並べた場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えば各情報アイコン部ＥＹの一部にジヤンルごとに色分け又はパターン分けされたジヤンル識別コードを付記するようにしても良い。

【００７１】

すなわち、図１３（Ａ）は表示画面４Ａに表示された情報アイコン一覧表示部AR_{EY}を示し、各情報アイコン部ＥＹの上部には、当該情報アイコン部ＥＹによつて表されるチヤンネルで放送中の番組のジヤンルが、色別又はパターン別にジヤンル識別コード部ＣＯに表示される。表示画面４Ａの上部には、各ジヤンルに対応した色又はパターンがジヤンル名とともに表示されている（ジヤンル識別コード索引部ＩＤＸ）。

【００７２】

従つてユーザは、当該ジヤンル識別コード部ＣＯによつて容易にジヤンルを見分けることができる。因みに、図１３（Ｂ）は、情報カード形式で表示された状態を示し、この場合においても、情報アイコン部ＥＹの上部にジヤンル識別コード部ＣＯが表示される。

【００７３】

ここで図１４はジヤンル識別コード部ＣＯの変形例を示し、図１４（Ａ）では、情報アイコン部ＥＹ、タイトル部ＴＹ及び「戻り」アイコン部ＲＴで構成されるタイトルバーの上部全体にジヤンル識別コード部ＣＯを表示する。

【００７４】

また図１４（Ｂ）では、タイトルバーの情報アイコン部ＥＹの上部及び左部にジヤンル識別コード部ＣＯを表示する。この場合、タイトルバー表示の他に、情報アイコン一覧表示部AR_{EY}に表示されたすべての情報アイコン部ＥＹの上部及び左部にジヤンル識別コード部ＣＯを表示しても良く、さらにジヤンル識別コード部ＣＯの位置は、上部及び左部に限らず、右部や下部との組み合わせでも良い。

【００７５】

また図１４（Ｃ）では、タイトルバーの情報アイコン部ＥＹ全体をジヤンルに対応した色又はパターンで覆うことによりジヤンル表示する。この場合、タイトルバー表示の他に、情報アイコン一覧表示部AR_{EY}に表示されたすべての情報アイコン部ＥＹを同様に色分け又はパターン分けしても良い。これにより、ジヤンル分けの識別を一段と容易にすることができる。

【００７６】

また図１４（Ｄ）では、情報カード形式で表示された部分全体をそのジヤンルに応じて着色したりパターンで覆うように表示する。これによりユーザに対して一段と印象強くジヤンルを認識させることができる。

【００７７】

（５－３）　上述の実施の形態においては、情報アイコン一覧表示部AR_{EY}に縦横６つの情報アイコン部ＥＹ（すなわち合計３６個の情報アイコン部）を表示する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、さらに細分化して多くの情報アイコン部ＥＹを表示しても良い。

【００７８】
またこれに対して、表示画面４Ａに表示させる情報アイコン部ＥＹの数を変えずにさらに多くの情報アイコン部ＥＹを扱う方法として、図１５に示すように、多数の情報アイコン部ＥＹの一部（３６個）を表示画面４Ａに表示させるようにしても良い。すなわち、図１５（Ａ）は上下スクロールバーＳＣ$_1$と左右スクロールバーＳＣ$_2$とを有し、上下スクロールバーＳＣ１に付加されている上方向スクロールボタンＳＣ$_{UP}$又は下方向スクロールボタンＳＣ$_{DW}$をカーソルＫＡで指定することにより、情報アイコン一覧表示部ＡＲ$_{EY}$の情報アイコン配列を画面上で上下にスクロールさせることができ、また、左右スクロールバーＳＣ２に付加されている左方向スクロールボタンＳＣ$_L$又は右方向スクロールボタンＳＣ$_R$をカーソルＫＡで指定することにより、情報アイコン一覧表示部ＡＲ$_{EY}$の情報アイコン配列を画面上で左右にスクロールさせることができ、これにより表示画面４Ａ上に表示し得る情報アイコン部ＥＹの数よりも多くの情報アイコン部ＥＹを扱うことができる。
【００７９】
また図１５（Ｂ）は、図１５（Ａ）の上下スクロールボタンＳＣ$_{UP}$、ＳＣ$_{DW}$と左右スクロールボタンＳＣ$_L$、ＳＣ$_R$に変え、ページ切り換えアイコンＡＲ$_P$を設け、ページ戻しボタンＰ１又はページ送りボタンＰ２をカーソル指定することにより、情報アイコン一覧表示部ＡＲ$_{EY}$の情報アイコン配列をページ単位で扱うことができ、この場合においても、表示画面４Ａ上に表示し得る情報アイコン部ＥＹの数よりも多くの情報アイコン部ＥＹを扱うことができる。
【００８０】
（５－４）　上述の実施の形態においては、衛星放送の各番組を情報アイコンとして表示する場合について述べたが、本発明はこれに限らず、例えばインタネットWWW(World Wide Web)ホームページ、ＤＶＤやＣＤ等のデイスクライブラリのメデイアソースからなる情報ガイドシステムにおいて、図１６（Ａ）及び（Ｂ）に示すように、テレビ放送、ホームページ及びデイスクのソースアイコンＳＯＵを表示画面４Ａに表示された情報アイコン一覧表示部ＡＲ$_{EY}$の上部に設け、各ソースアイコンＳＯＵによつて指定されたモード（ＴＶモード、WWWモード、ＤＩＳＣモード）に対応した情報アイコンを表示するようにしても良い。
【００８１】
　すなわち、図１６（Ａ）はソースアイコンＳＯＵによつてテレビ（ＴＶ）モードが指定され、情報アイコン一覧表示部ＡＲ$_{EY}$には、テレビ番組（チヤンネル）に対応した情報アイコン部ＥＹ$_{TV}$が表示されている。この状態において、ソースアイコンＳＯＵのデイスク（ＤＩＳＣ）モードを指定すると、図１６（Ｂ）に示すように、情報アイコン一覧表示部ＡＲ$_{EY}$に、例えばデイスクのジヤケツトのグラフイツクを縮小した情報アイコンＥＹ$_{DISC}$が一覧表示される。従つて、ユーザはソースアイコンＳＯＵを選択するだけで、複数種類のメデイアの情報アイコンを選択することができる。この場合、図１のＤＶＤ８やＭＤ９として複数のデイスクを収納し得るデイスクチエンジヤ搭載型のものを用いることにより、各デイスクをモニタ装置４の表示画面４Ａ上で選択することができる。
【００８２】
　各デイスクの情報は、各デイスクをデイスクチエンジヤに装填する際にユーザが受信復号装置２のＳＲＡＭ３６に登録したり、又は、各デイスクに予めデイスク情報を記録しておき、これを装填時に読み出してＳＲＡＭ３６に格納すれば良い。また、インターネットのホームページ情報は、通信回線を介して入力された情報をＳＲＡＭ３６に取り込み、当該情報に基づいて情報ガイドを行うようにすれば良い。
【００８３】
（５－５）　上述の実施の形態においては、番組ガイドの表示シーケンスを受信復号装置２のＣＰＵ２９によつて行う場合について述べたが、本発明はこれに限らず、情報ガイド装置として、別体の装置を用いるようにしても良い。
【００８４】
【発明の効果】

上述のように本発明によれば、番組に対応する情報アイコンを一覧表示し、当該一覧表示された各情報アイコンを、ユーザ操作に応じて、当該選択された情報アイコンに対応する番組の内容を表示するための表示領域として引き伸ばすように切り換え、その表示領域に選択された情報アイコンに対応する番組の少なくともタイトルを表示するようにしたことにより、情報アイコンごとに一貫して切換表示することができるため、ユーザが所望とする番組内容を容易に検索することができ、かくしてユーザの使い勝手を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明による情報表示方法を適用した衛星放送受信システムを示すブロツク図である。

【図２】受信復号装置の構成を示すブロツク図である。

【図３】リモートコマンダの各種ボタン配置例を示す平面図である。

【図４】情報カード形式の番組ガイド画面の変化を示す略線図である。

【図５】情報カード形式の番組ガイド画面の変化を示す略線図である。

【図６】情報表示手順を示すフローチヤートである。

【図７】情報表示手順を示すフローチヤートである。

【図８】情報表示手順を示すフローチヤートである。

【図９】情報表示手順を示すフローチヤートである。

【図１０】情報アイコンのジヤンル別の配列を示す略線図である。

【図１１】ジヤンル検索アイコンを用いた検索表示手順の説明に供する略線図である。

【図１２】ジヤンル検索アイコンを用いた検索表示手順の説明に供する略線図である。

【図１３】ジヤンル識別コード付きの表示例を示す略線図である。

【図１４】ジヤンル識別コード部の他の実施の形態を示す略線図である。

【図１５】多数アイコンの切換え表示例を示す略線図である。

【図１６】ソースアイコンによる切換え表示例を示す略線図である。

【符号の説明】

２……受信復号装置、４……モニタ装置、４Ａ……表示画面、５……リモートコマンダ、Ｋ２～Ｋ５……「カーソル移動」ボタン、Ｋ６……「決定」ボタン、Ｋ１１……「ガイド」ボタン、Ｋ１２……「解説」ボタン、ＥＹ……情報アイコン部、$ＡＲ_{ＥＹ}$……情報アイコン一覧表示部、ＫＡ……カーソル、ＴＹ……タイトル部、ＲＴ……「戻り」アイコン部、ＧＥ……ジヤンル検索アイコン、ＣＯ……ジヤンル識別コード部、ＳＣ１……上下スクロールバー、ＳＣ２……左右スクロールバー、$ＡＲ_{Ｐ}$……ページ切換えアイコン、ＳＯＵ……ソースアイコン。

【図１】

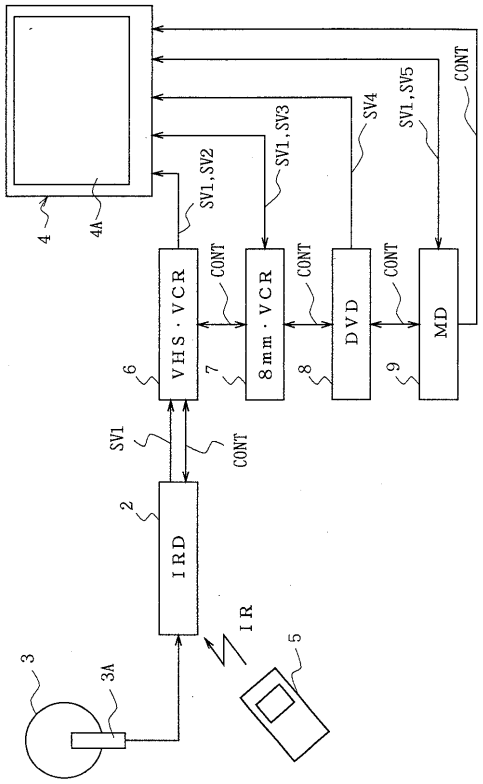

図１　衛星放送受信システムの全体構成

【図２】

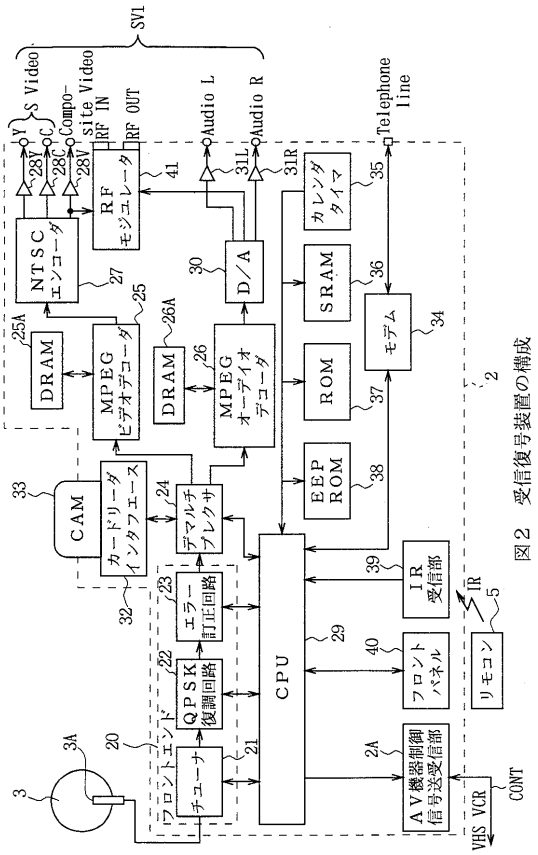

図２　受信復号装置の構成

【図３】

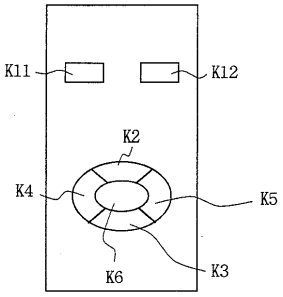

図３　リモートコマンダの操作ボタン

【図４】

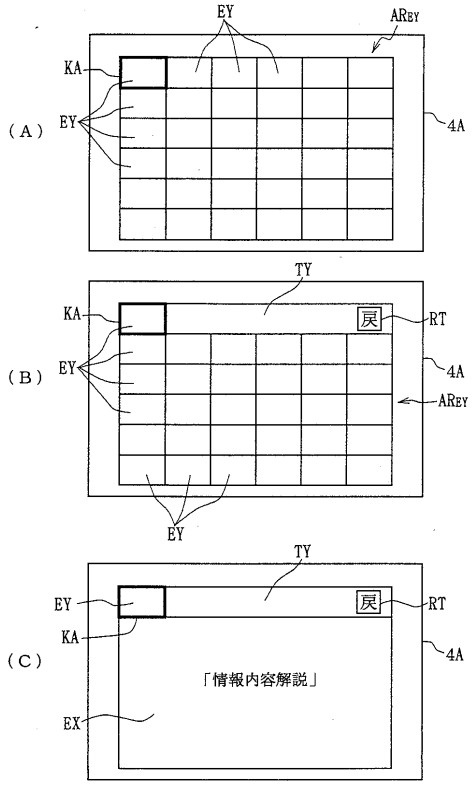

図４　情報カード形式の画面変化

【図１０】

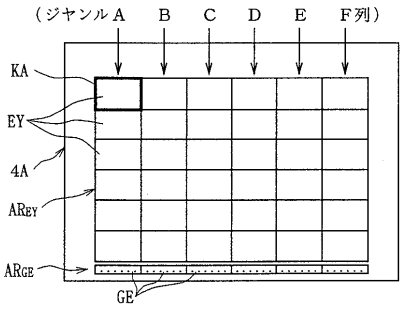

図１０　ジャンル別の配列

【図５】

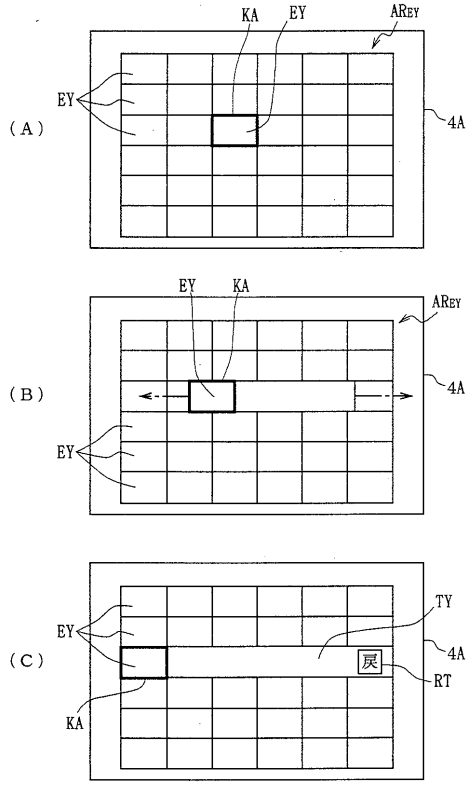

図５　情報カード形式の画面変化

【図６】

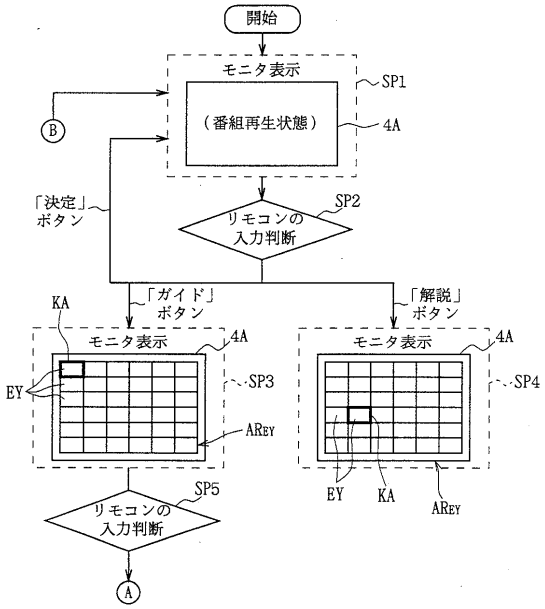

図６　情報表示手順（１）

【図７】

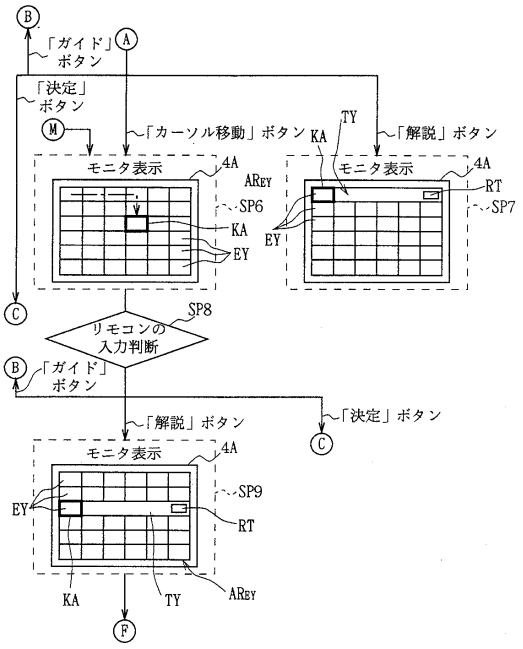

図７　情報表示手順（２）

【図８】

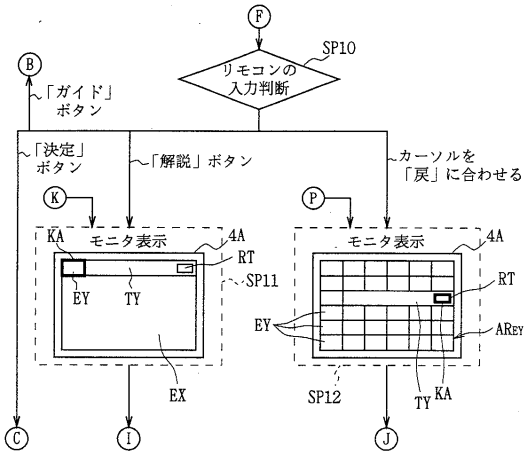

図８　情報表示手順（３）

【図９】

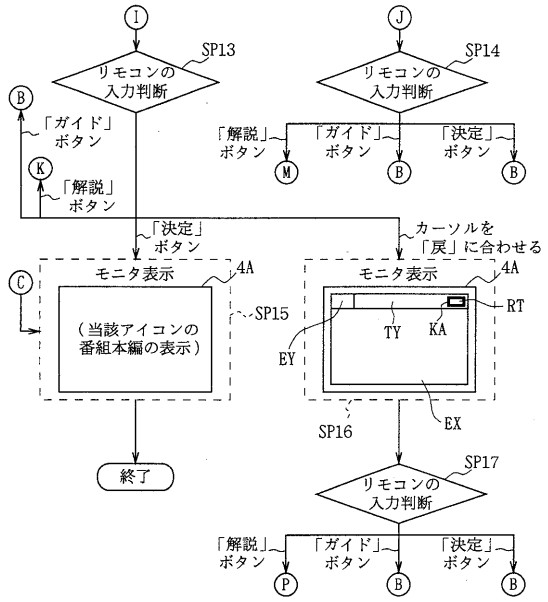

図９　情報表示手順（４）

【図１１】

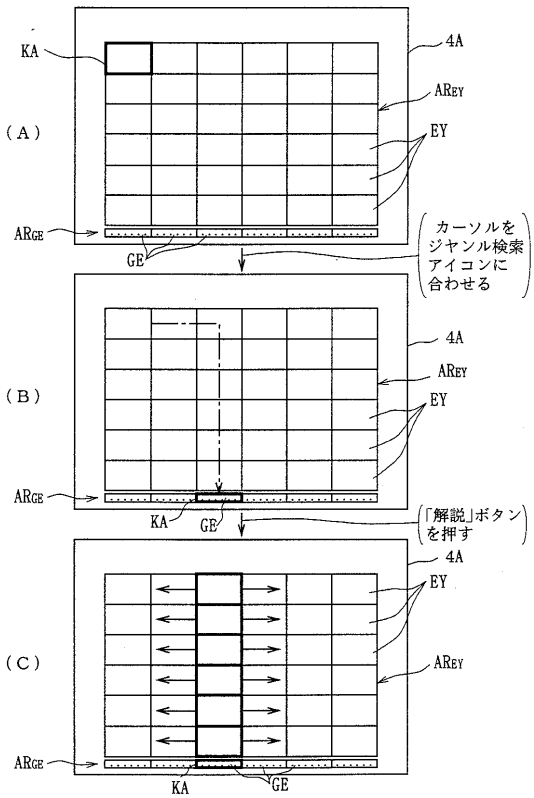

図１１　ジャンル検索アイコンを用いた検索（１）

【図１２】

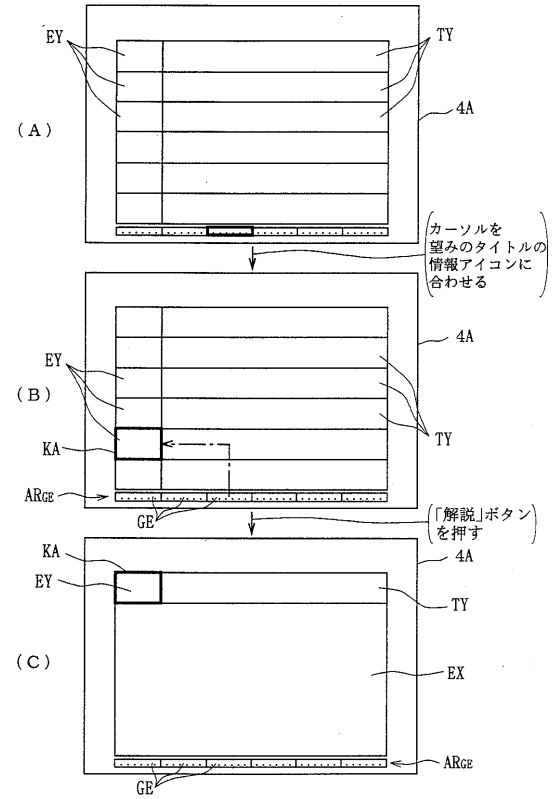

図１２　ジャンル検索アイコンを用いた検索（２）

【図１３】

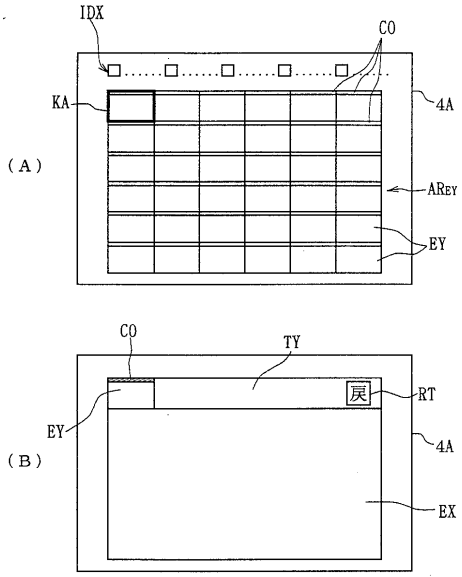

図１３　ジャンル識別コード付表示例

【図１４】

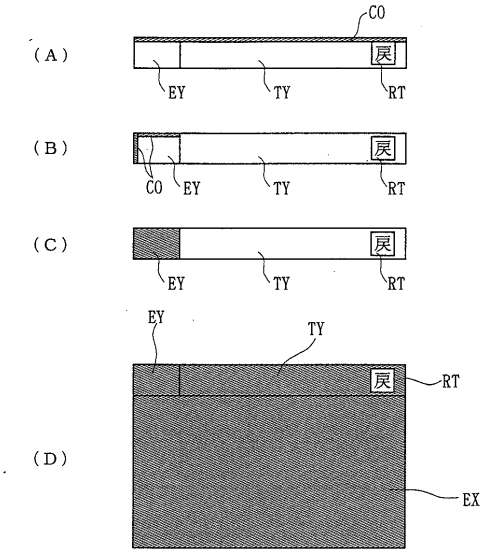

図１４　ジャンル識別コード部の変形例

【図１５】

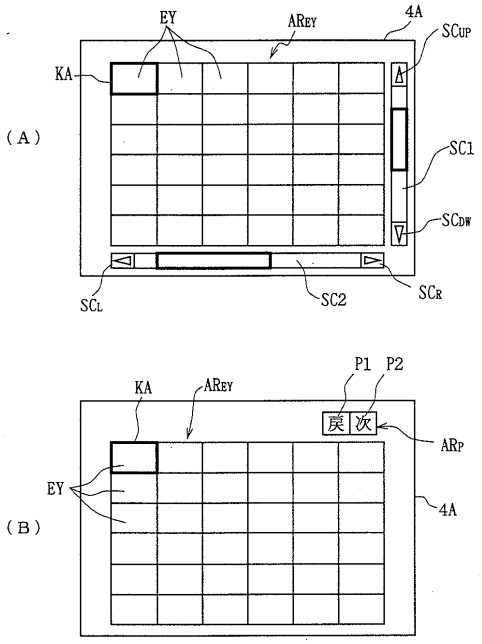

図１５　多数アイコンの切換え表示例

【図１６】

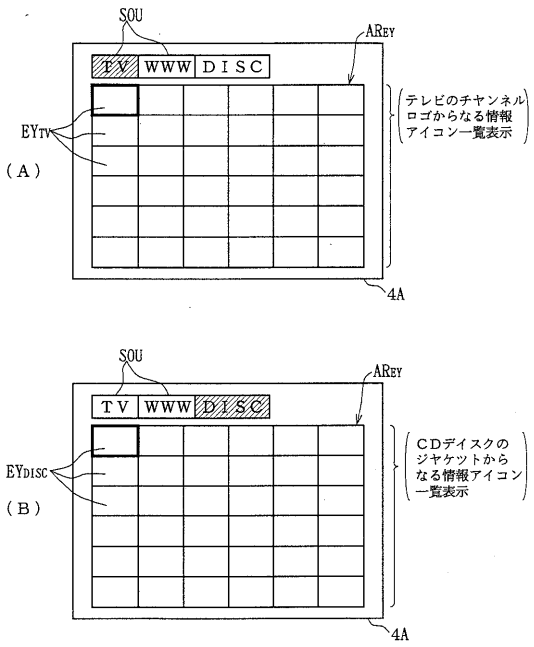

図１６　ソースアイコンによる切換え表示例

フロントページの続き

審査官　松永　隆志

(56)参考文献　特開平０８－２８９２０１（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
H04N 5/38-5/46